

# 地域管理経営計画の概要

## 大和・木津川森林計画区（奈良県）

### 1 森林計画区の概況

国有林野面積は917haであり、都市近郊を中心に点在しています。

位置図



森林計画区内の総土地面積に占める国有林野の面積割合は0.7%、森林面積に占める割合は1.3%となっています。

森林計画区内の国有林のうち43%は森林空間利用タイプとなっており、「金剛生駒紀泉国定公園」等の自然公園に指定されているものもことから、ハイキングなど森林を利用したレクリエーション・保健休養の場として多くの人に利用されています。

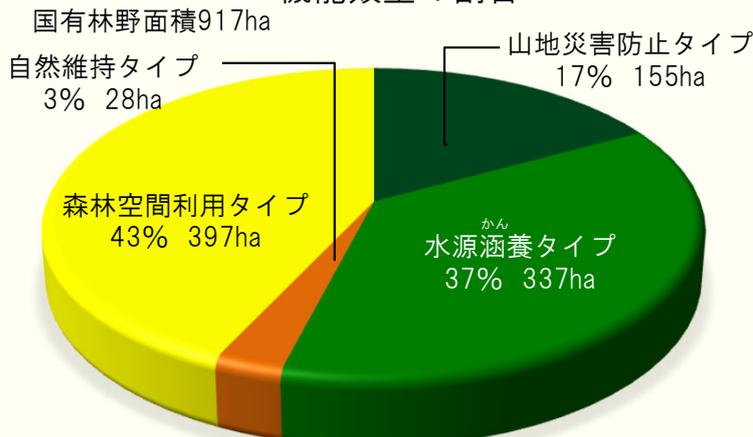
また、昔から数々の万葉の名歌に詠まれ、名勝に指定されている大和三山（耳成山、香久山、畝傍山）は風致保安林にも指定されており、歴史的景観を形成する都市近郊林となっています。

このほか、奈良盆地周辺には、法隆寺を始めとした世界文化遺産に指定された神社、仏閣などの文化財や名所・旧跡が数多くあり、歴史的建造物の修復資材の持続的な供給や背景林としての景観の保全・形成など文化財保全に重要な役割を担っています。

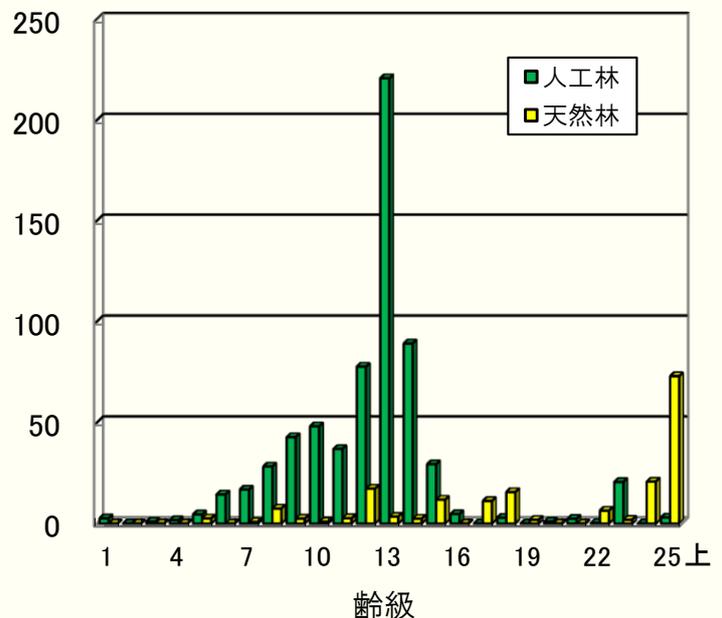
#### 森林計画区内における森林面積の割合



#### 機能類型の割合



#### 面積(ha) 齢級別面積



注1 各データは令和4年現在。

注2 四捨五入等により内訳と合計が合わない場合がある。

注3 齢級とは、5年をひとくりにし、林齢1~5年生を1齢級、6~10年生を2齢級、以下、3齢級、4齢級と続く。

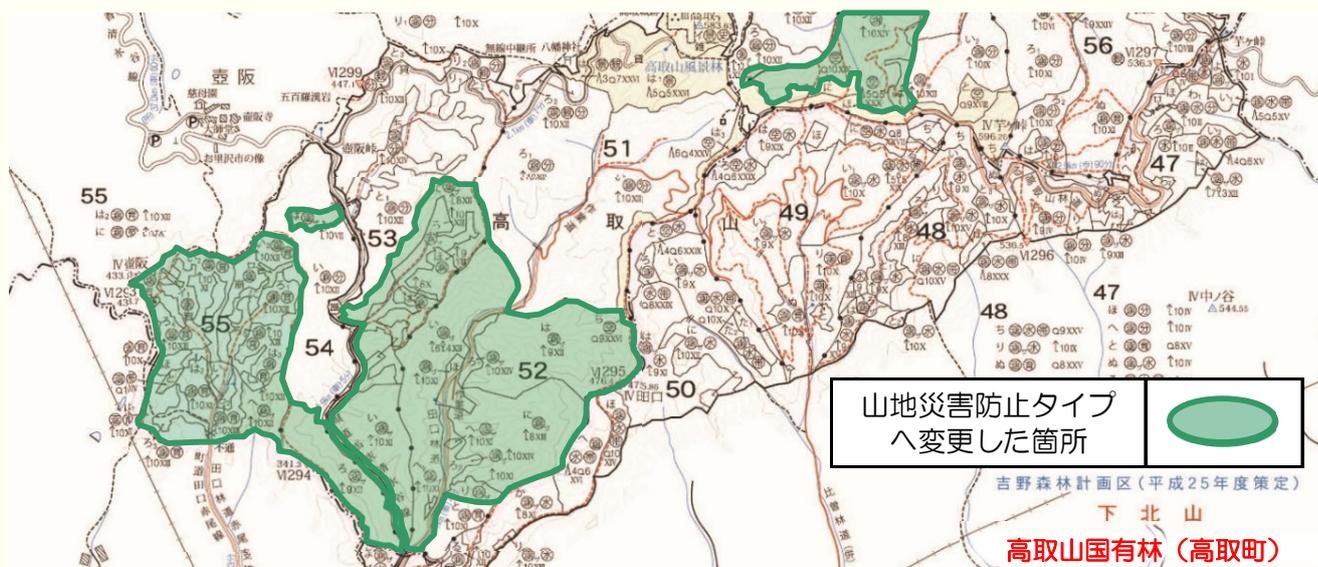
## 2 計画策定にあたってのポイント

### 災害に強い国土基盤の形成に向けての機能類型の変更

気候変動による豪雨の増加等に伴い、山地災害が激甚化・多様化していることを踏まえ、事前防災・減災の考え方に立ち、もろく崩れやすい土質で、比較的近距离に集落や田畑があり、下流域において土砂災害警戒区域に指定されている高取山国有林（154.88ha）の機能類型を「山地災害防止タイプ」へ変更しました。

機能類型	新計画 (ha)	現計画 (ha)	現計画比 (ha)	国有林 (市町村)	変更前の 機能類型
山地災害防止 タイプ	155.38	0.50	+154.88	高取山（高取町）	水源涵養 タイプ

【山地災害防止タイプへ変更した代表的な国有林】



## 3 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

### (1) 主要事業量（令和5年度～令和9年度：5カ年）

森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるため、76ha（1.0万 $m^3$ ）の間伐を実施し、間伐材の有効利用に努めます。

また、76ha（3.8万 $m^3$ ）の主伐を実施します。

事業区分		新計画	現計画	増減事由
伐採総量	主伐	76ha（37,522 $m^3$ ）	86ha（33,139 $m^3$ ）	伐期を迎える分収林の材積増
	間伐	76ha（10,407 $m^3$ ）	78ha（8,751 $m^3$ ）	間伐対象林分の材積増
更新総量	人工造林	119.52ha	69.10ha	現計画で搬出中の主伐箇所があることに伴う増
	天然更新	—	—	—
保育総量	下刈	365.58ha	208.10ha	人工造林の増加に伴う増
	除伐	—	2.04ha	対象箇所減少に伴う減
林道事業	開設	—	—	—
	改良	—	30m	森林整備に必要な路線での修繕箇所がないため
治山事業	保全施設	3箇所	2箇所	荒廃地復旧箇所の増加に伴う増
	保安林の整備	29.47ha	20.51ha	整備対象森林の増加に伴う増

注1 主伐とは、利用期に達した樹木を伐採し収穫すること。間伐と異なり伐採した後に更新を行う。

注2 間伐とは、育てようとする樹木どうしの競争を軽減するため、混み具合に応じて一部の樹木を伐採すること。

注3 更新とは、伐採等により樹木がなくなった箇所において、植林を行うことや自然力の活用等により森林の世代が替わること。

注4 除伐とは、育てようとする樹木の生長を妨げる他の樹木を刈り払う作業。通常、育てようとする樹木の枝葉が互いに接する状態になるまでの間に行う。

## (2) 治山事業

治山事業は、民有林治山事業と連携し、自然環境の保全への配慮や木材利用、コスト縮減等に努めながら、荒廃地の整備、災害復旧、保安林の整備等を計画的に実施します。

本計画区では、豪雨等により荒廃した山地において、山腹斜面の安定化を図る山腹工、荒廃溪流への治山ダムを設置するとともに、平成29年度の台風21号により発生した山腹崩壊箇所の復旧工事を引き続き計画しています。

【県道に近い溪流で施工した溪間工】



【道路下部の山腹斜面に施工した山腹工】



## 4 国有林野の維持及び保存に関する事項

### 保護林

本計画区では、金剛山国有林に希少個体群保護林1か所を設定しています。

「金剛山ブナ希少個体群保護林」のある金剛山は修験の山、地域の山として多くの人々に親しまれており、保護林は金剛山山頂の西側に位置する国有林内に所在しています。

保護対象は、近畿地方南部では希少なブナ群落で、モニタリングや巡視等を行いながら厳格に保護・管理しています。

【金剛山ブナ希少個体群保護林】



名称	面積 (ha)	特徴	国有林名 (市町村)
金剛山ブナ希少個体群保護林	16.21	島状に隔離分布する希少なブナ群落の保護	金剛山 (御所市)

# 5 国有林野の活用に関する事項

## 公衆の保健のための活用の推進

本計画区では、大和三山風景林、高取山風景林の2か所を「レクリエーションの森」に設定しています。

大和三山風景林は、万葉集や古今和歌集をはじめとして、古くから数多くの詩歌に詠まれ、悠久の時を超えてたたく姿は、現在も藤原宮跡などから望むことができます。

高取山風景林は、風景林内の山頂付近を中心に1.13haが国指定史跡「高取城跡」に指定され、日本三大山城に数えられています。城跡内には往時から生育すると思われるスギの巨木が見られ、城跡からの眺望は、奈良盆地一帯が見渡せます。

いずれの風景林も「レクリエーションの森」のうち、特に景観等の優れている「日本美しいの森お薦め国有林」に選定されています。

【歴史的な由緒と美しい景観を有する大和三山風景林】



耳成山、香久山、畝傍山国有林（橿原市）

【紅葉の高取山風景林】



高取山国有林（高取町）

種類	名称	国有林名（市町村）	面積（ha）
風景林	大和三山風景林	耳成山、香久山、畝傍山（橿原市）	64.32
風景林	高取山風景林	高取山（高取町）	14.19

# 6 国民の参加による森林の整備に関する事項

## 森林環境教育の推進

国有林野の豊かな森林環境を子どもたちに提供するため、学校、自治体、NPO、森林インストラクター、民有林関係者等と連携し、森林環境教育に取り組みます。

本計画区では、大亀谷国有林において、「森の幼稚園ひかり」と名付けて「遊々の森」を設定しています。

【遊々の森において、幼稚園を対象とした自然観察会の様子】



大亀谷国有林（奈良市）



大亀谷国有林（奈良市）